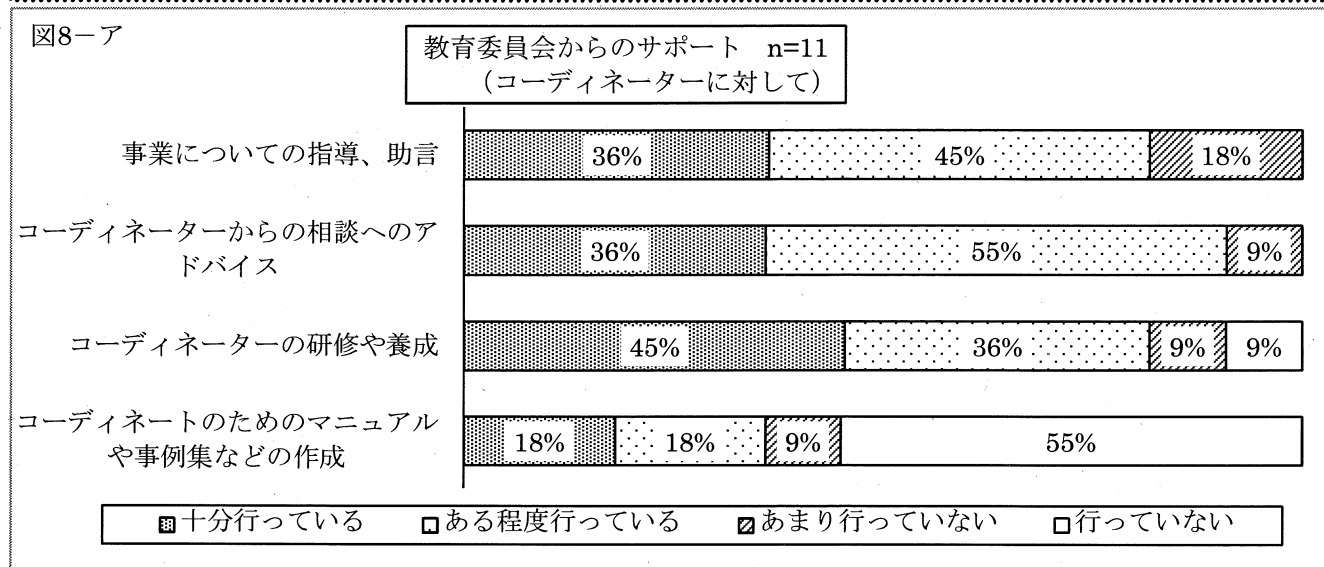


(8) 教育委員会からのサポート

ア 地域コーディネーターへのサポート

地域コーディネーターへのサポートについておたずねします。

教委問 2 (1)

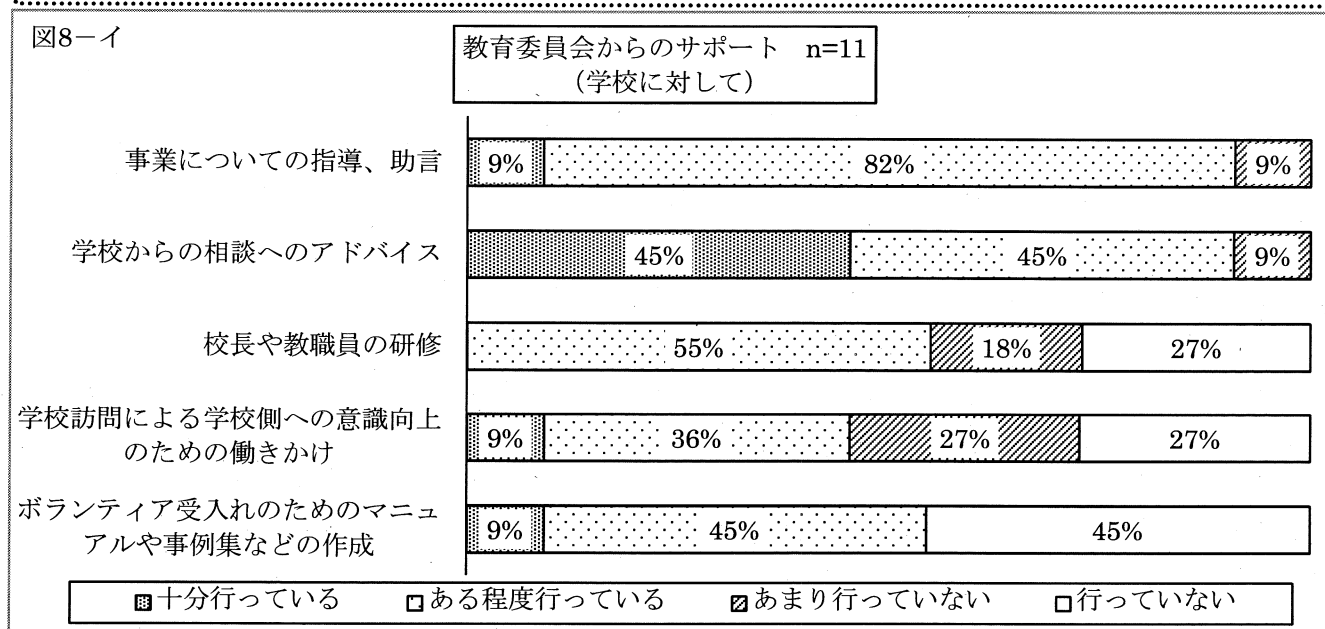


「十分行っている」「ある程度行っている」と回答した割合では、「コーディネーターからの相談へのアドバイス」が 91%、「コーディネーターの研修や養成」「事業についての指導、助言」がいずれも 81%である。特に「コーディネーターの研修や養成」については 45%の教育委員会が「十分行っている」と回答し、積極的にサポートしていたことが分かる。「コーディネートのためのマニュアルや事例集などの作成」については「十分行っている」「ある程度行っている」は 36%であった。

イ 学校へのサポート

学校へのサポートについておたずねします。

教委問 2 (2)



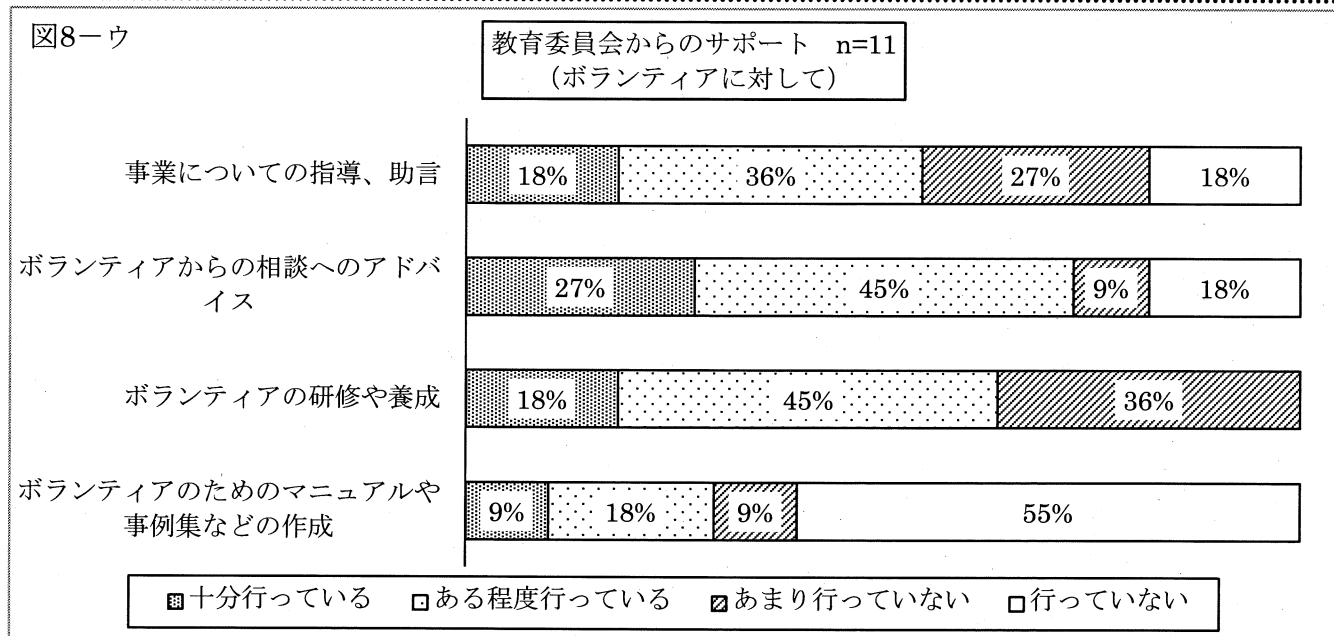
「十分行っている」の割合で見ると、「学校からの相談へのアドバイス」は 45%であるが、「事業についての指導・助言」「学校訪問による学校側への意識向上のための働きかけ」「ボランティア受入れのためのマニュアルや事例集などの作成」については、9%（1市）だけであった。「校長や教職員の研修」については「十分行っている」と回答した教育委員会はなかった。

これらの様子から、教育委員会から学校へのサポートは、学校側からの問い合わせや相談に応じて行ったり、学校側の負担に配慮したりするサポートが中心であった様子がうかがえる。

ウ ボランティアへのサポート

ボランティアへのサポートについておたずねします。

教委問 2 (3)

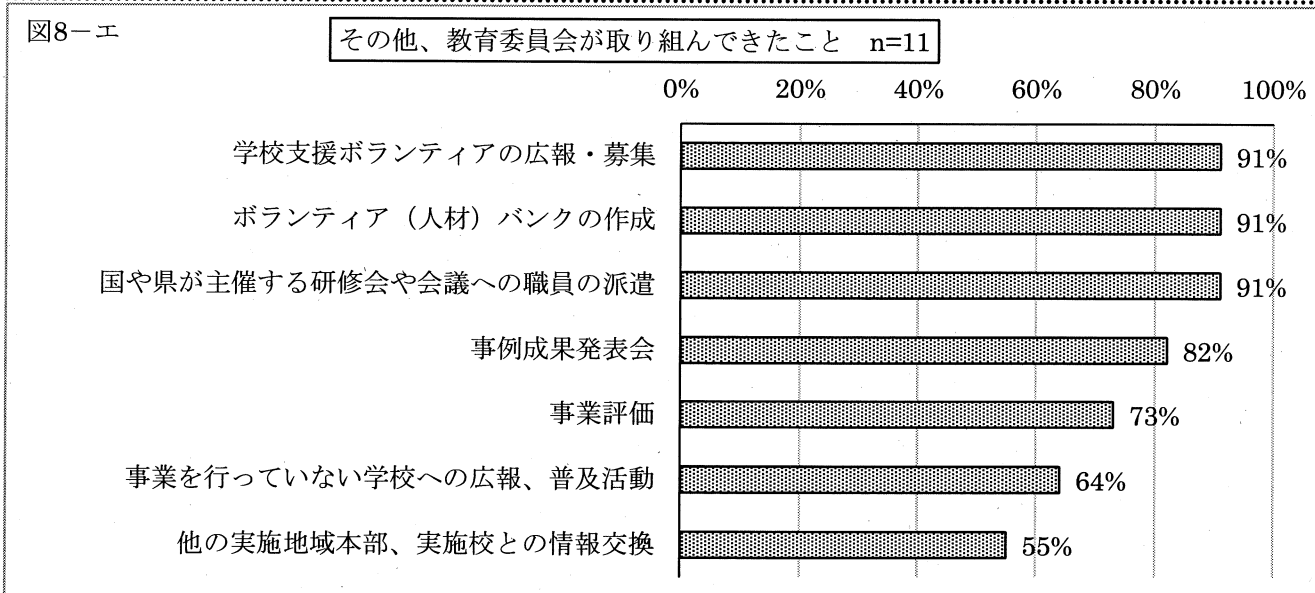


「ボランティアからの相談へのアドバイス」は、72%の教育委員会が「十分行っている」「ある程度行っている」と回答している。「ボランティアの研修や養成」については、63%の教育委員会が「十分行っている」「ある程度行っている」と回答している。一方、「ボランティアのためのマニュアルや事例集などの作成」については、「十分行っている」「ある程度行っている」を合わせて、27%にとどまっている。

エ その他のサポート

その他、貴教育委員会が取り組んできたことは何ですか。(あてはまるものすべて)

教委問 2 (4)



「学校支援ボランティアの広報・募集」「ボランティア（人材）バンクの作成」「国や県が主催する研修会や会議への職員の派遣」については 91%と、高い割合で取り組まれている。「事例成果発表会」82%、「事業評価」73%と続いている。教育委員会は、ボランティアの募集・人材バンク作成や先進事例の紹介等により、側面から実際の活動を支援していた姿がうかがえる。

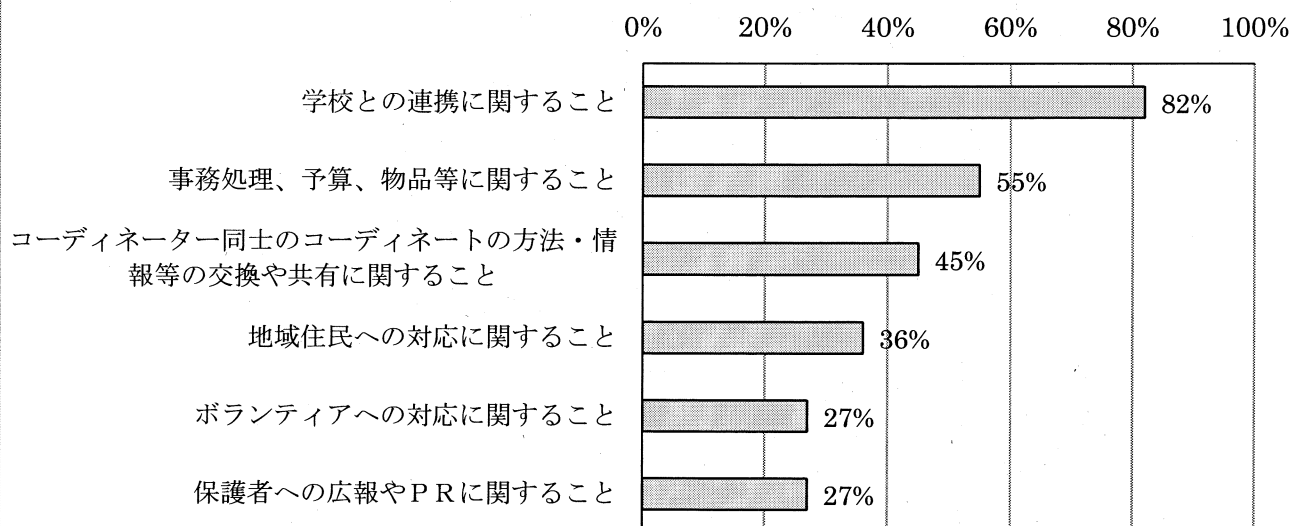
オ 地域コーディネーターからの相談内容

地域コーディネーターからは主にどのような相談がありましたか。(3つまで)

教委問2 (5)

図8-オ

地域コーディネーターからの相談 n=11



地域コーディネーターから教育委員会に寄せられた相談内容である。「学校との連携に関すること」が82%と最も多い。この事業によって配置されることとなった地域コーディネーターにとって、学校（教職員）との連携に戸惑いや課題があった様子がうかがえる。同時に、教育委員会担当者は地域コーディネーターのよき相談相手として活動を支援していたことが想像できる。

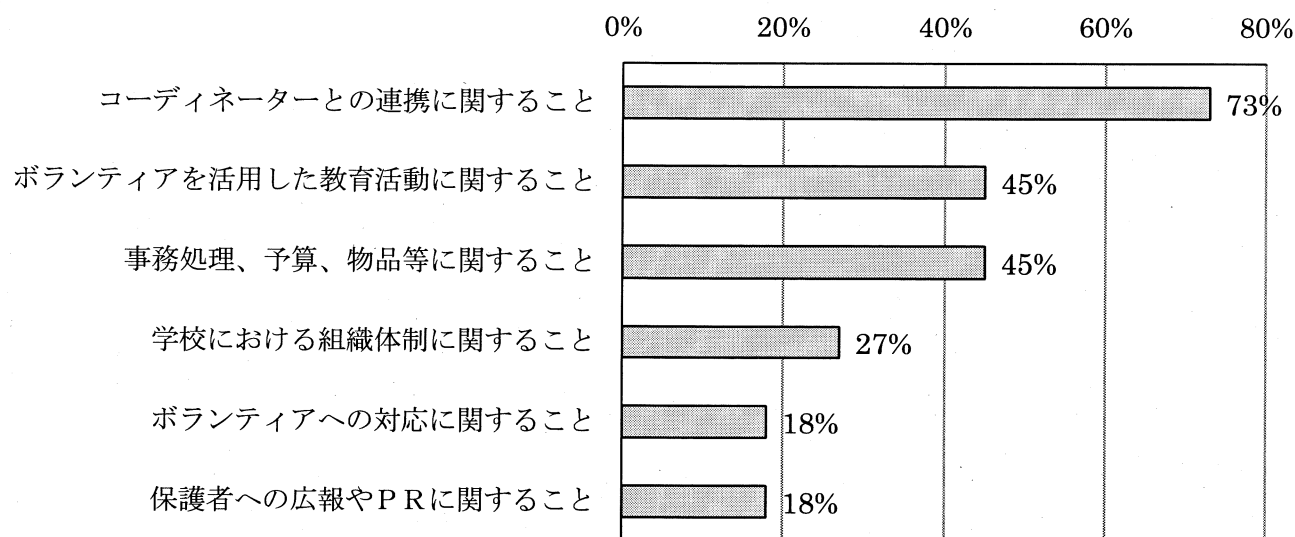
カ 学校からの相談内容

学校からは主にどのような相談がありましたか。(3つまで)

教委問2 (6)

図8-カ

学校からの相談 n=11



「コーディネーターとの連携に関すること」が73%と最も多い。コーディネーターが学校との連携に戸惑いを感じていたことと同様に、学校も地域コーディネーターとの連携に戸惑いや課題があったことが分かる。「ボランティアを活用した教育活動に関すること」「事務処理、予算、物品等に関すること」が45%と続く。